

# Minami Kyushu Junior College Syllabus

科目名称	メディア・リテラシー演習					英語コミュニケーション( ) 留学( ) ビジネス・キャリア(○) ホテル・観光(○) オフィス情報(○) 医療事務・医療秘書(○) スポーツ健康(○) 大学編入(○) グローバル(○)		
英文科目名称	Media Literacy Seminar							
科目コード	590075	授業形態	演習	単位数	2			
教員氏名	有馬 明雄		年次配当	1年次	後期			
授業概要及び授業方法	<p>先ず、スマホで「宮崎インターネット新聞」を検索してほしい。      このHP(ホームページ)で、当ゼミは、インターネット新聞を発行する。      人間の知的活動はimaginationによるcreation。アクティブラーニングの中身を知れば、楽しく易しく逞しく成長できるだろうことが分かる。自分で考え、自分で行動し、そのトレーニングの積み重ねで企画力、行動力、文章力、コミュニケーション能力を高めていく。</p>							
関連する科目	日本語言語表現			学習成果との関係	① ②			
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 演習の概要を説明。ゼミ生を「新聞」に接続し、システムを構築し、試運転</li> <li>2. 新聞や直近の情報誌等を持参。記事のコピーとHPアップトレーニング</li> <li>3. 新聞や直近の情報誌等を持参。記事のコピーとHPアップトレーニング</li> <li>4. 取材計画の作成要領、記事紙面づくり等について(やってみせて編)</li> <li>5. 取材計画の作成要領、記事紙面づくり等について(やらせてみて編)</li> <li>6. 取材計画の作成要領、記事紙面づくり等についてグループでディスカッション</li> <li>7. 情報リテラシーセミナー(情報化Ⅰ)の開催、グループでディスカッション</li> <li>8. 情報リテラシーセミナー(地域コミュニティ)の開催、グループでディスカッション</li> <li>9. 情報リテラシーセミナー(環境問題Ⅰ)の開催、グループでディスカッション</li> <li>10. 情報リテラシーセミナー(行政広報の実際)の開催、グループでディスカッション</li> <li>11. 情報リテラシーセミナー(情報化Ⅱ)の開催、グループでディスカッション</li> <li>12. 情報リテラシーセミナー(防災問題Ⅰ)の開催、グループでディスカッション</li> <li>13. 情報リテラシーセミナー(環境問題Ⅱ)の開催、グループでディスカッション</li> <li>14. 情報リテラシーセミナー(防災問題Ⅱ)の開催、グループでディスカッション</li> <li>15. 演習総括。アクティブラーニングの成果等についてグループでディスカッション</li> </ol>							
授業時間外の学習	新聞作成に必要な能力を高めるために新聞を読み、プロの記事のコピー訓練や、情報誌等の面白いネタをチェックしておくなど、普段から「自分は新聞記者である」ことを自覚する。							
授業の到達目標	主に時事問題等について、自分で考え、周囲とディスカッションし、自分で判断し、自分の記事を書き、入稿するという、一連の、社会人として必要な能力を身に付ける。							
課題に対するフィードバック	期末試験終了後に解説を行う。			評価方法	入稿記事を基本に評価する。 評価基準は到達目標に基づく。			
テキスト	講師で用意するWEBのHP(ホームページ)							
参考書	各種新聞、情報誌等							
備考	特になし							